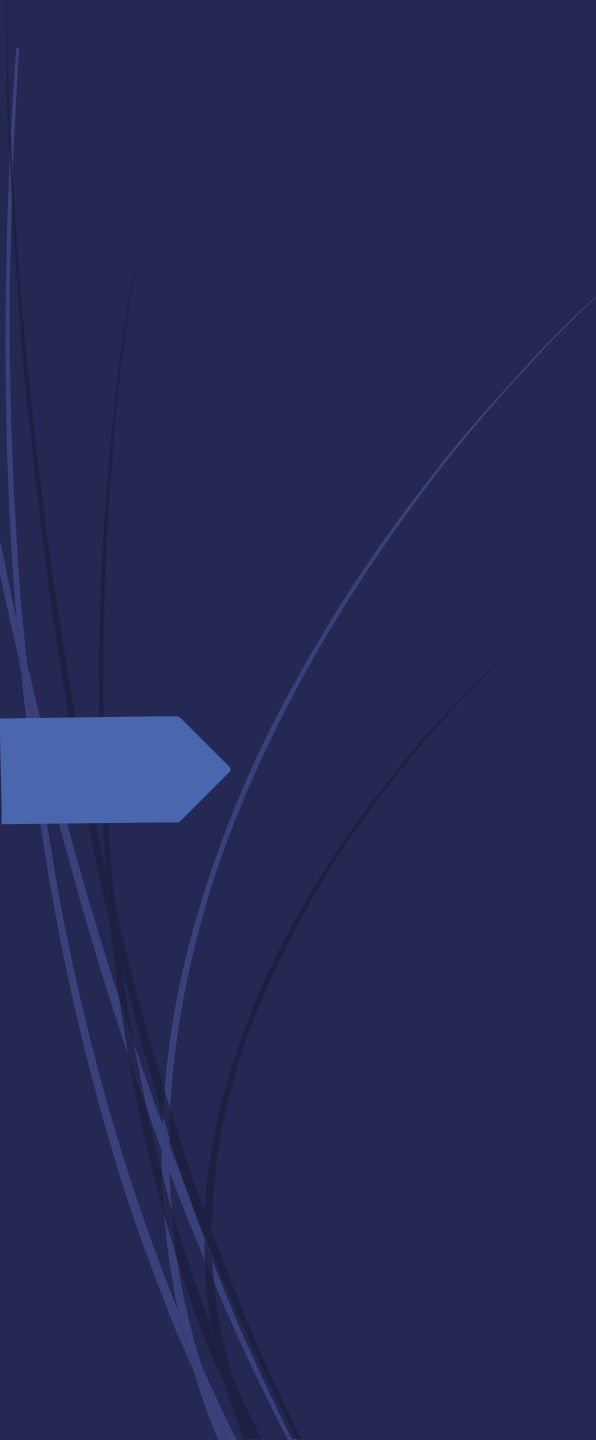




よみがえれ長良川

~生物多様性条約COPの視点から~

2025年7月6日@岐阜県図書館

三石朱美

生態系サービス

供給

サービス

食料、燃料、木材、
繊維、水、薬品など
生活に重要な資源を
供給するサービスです。



例：青カビからペニシリン

調整

サービス

森林による自然災害の抑
制、空気や水の浄化など、
環境を制御する
サービスのことです。



例：森の貯水力が土砂崩れを防止

文化的

サービス

癒しなどの精神的な
充足、美的・文化的な
楽しみなどを与える
サービスです。

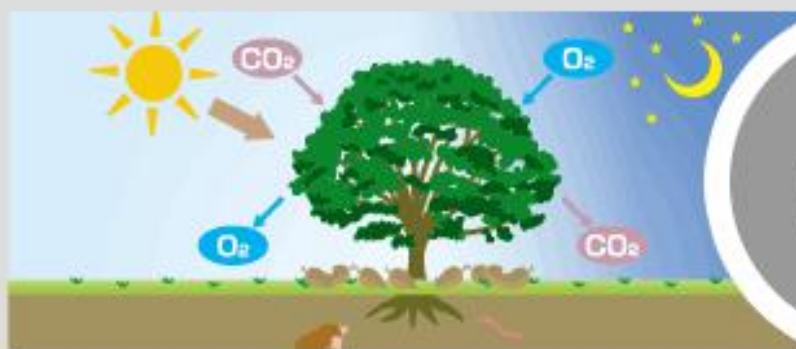


例：森林浴による「癒し」

基盤

サービス

供給・調整・文化的サービスの基盤となるサービスです。
光合成による酸素の生成、土壌形成、水や栄養の循環などです。



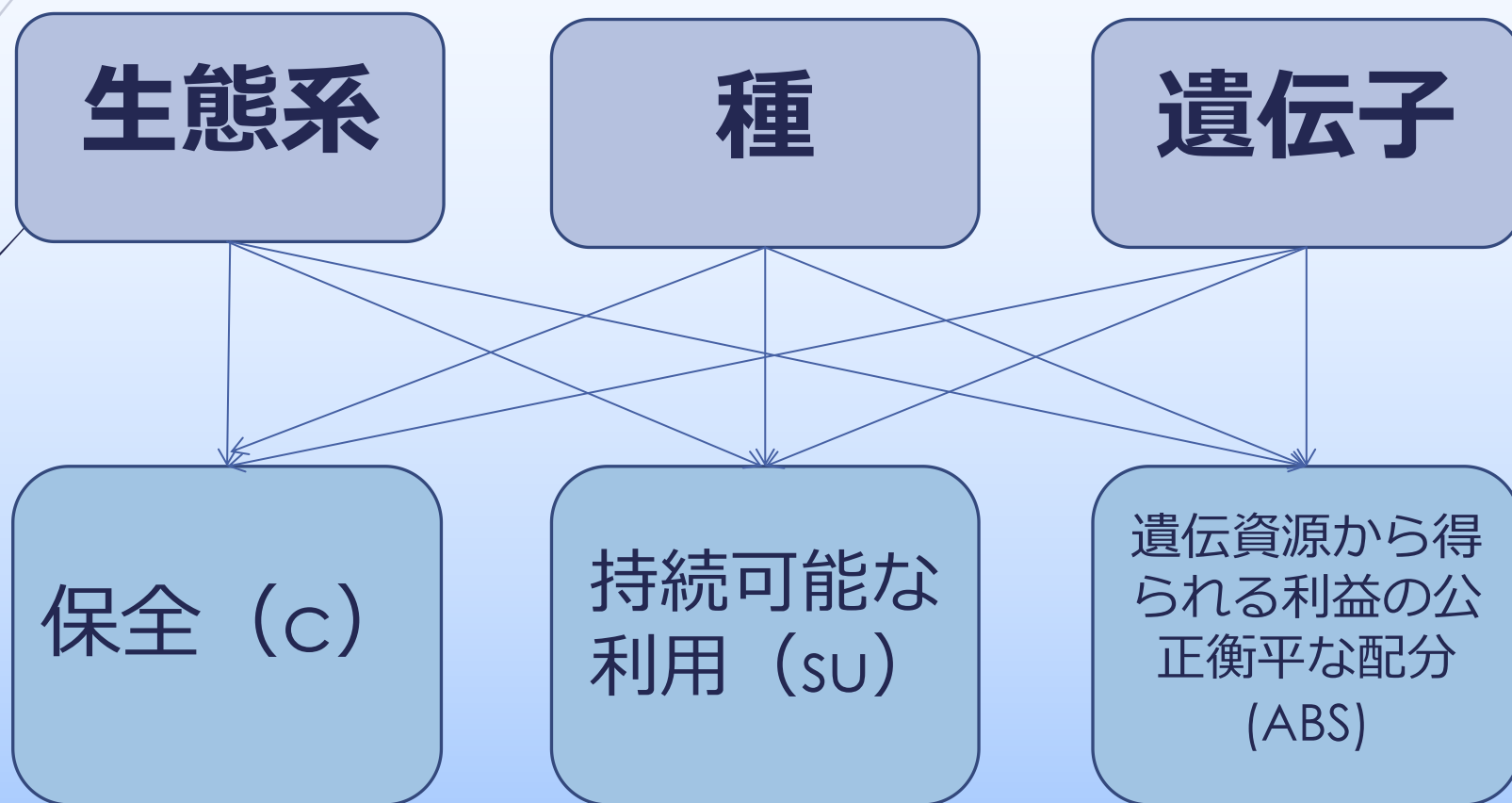


生態系サービスを活用する = 自然のお世話になる

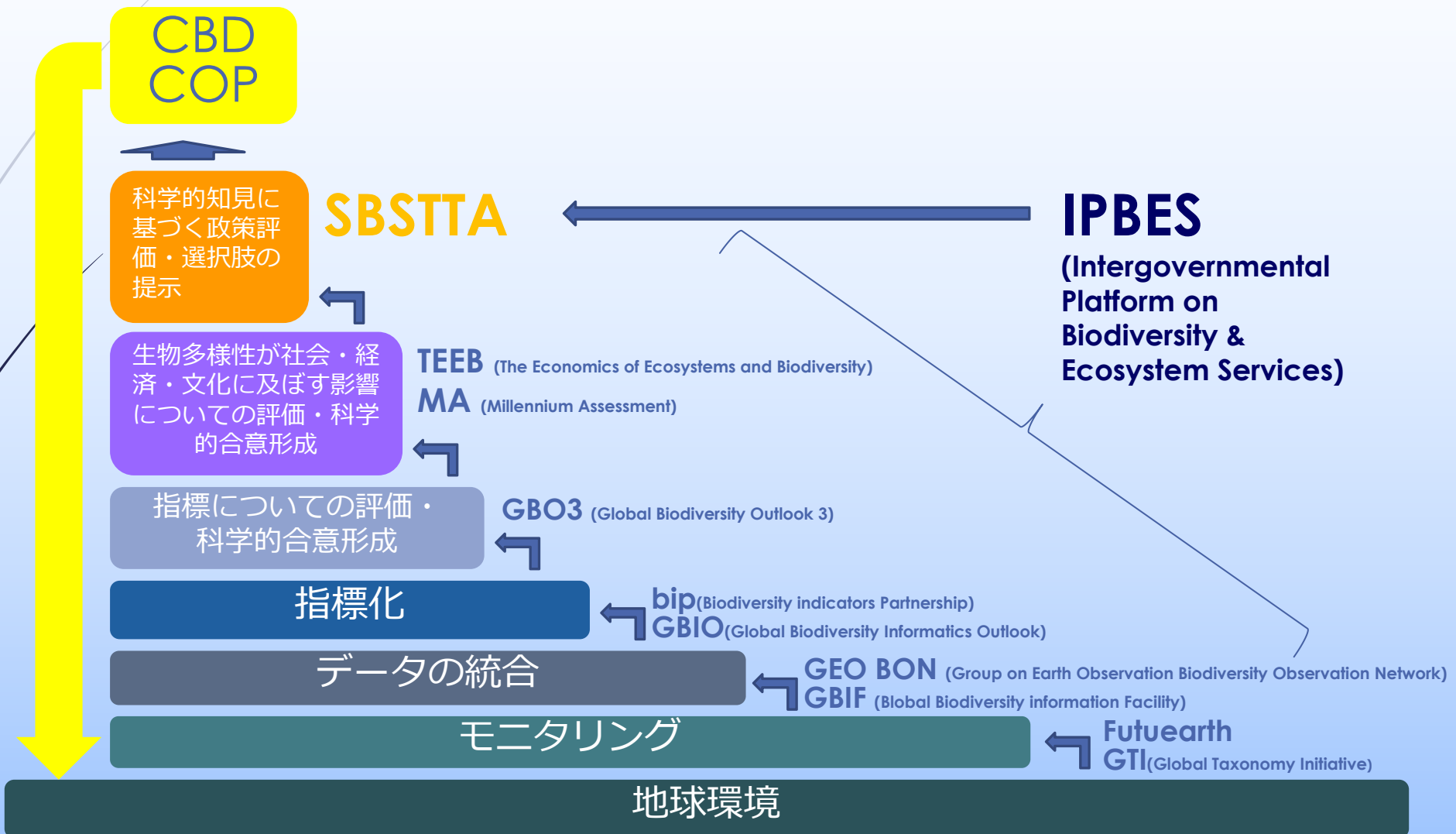
- 供給サービス 食料、水(飲用・灌漑・冷却)、原材料(繊維、木材、燃料、肥料)、遺伝資源、薬用資源、観賞資源
- 調整サービス 大気質調整、気候調整、局所災害の緩和、水量調整、水質浄化、土壌形成、花粉媒介、生物学的コントロール(種子の散布、病害虫のコントロール)
- 基盤サービス 栄養塩循環(生態系の分解、吸収機能)、光合成、水循環
- 文化的サービス 自然景観、レクリエーション、文化、芸術、宗教、科学・教育的知識

生物多様性条約 (CBD)

三つの多様性



地球環境をCOPが議論されるまで



そもそもCOPとは...？

- Conference Of the Parties = 締約国会議
→ 各条約ごとに存在。 COP●● 数字は回数を示す
- **COP10 (2010)** **愛知県名古屋市、日本**
- COP11 (2012) ハイデラバード、インド
- COP12 (2014) 平昌、韓国
- COP13 (2016) カンクン、メキシコ
- COP14 (2018) シャルム=エル=シェイク、エジプト
- COP15 (2022) モントリオール、カナダ（議長国：中国）
- COP16 (2024) カリ、コロンビア

2010年生物多様性条約COP10 名古屋の成果

- 愛知ターゲット
 - 2020年までに締約国が達成すべき20の個別目標。
 - 2020年のCOP15で愛知ターゲットを見直し、新たな目標を設定する。
- 名古屋議定書の採択
 - 遺伝資源に対するアクセスと公平公正な利益配分
- 名古屋・クアラルンプール議定書

愛知目標とは...

- 長期目標 (Vision) <2050年>
 - 「自然と共生する (Living in harmony with nature)」世界
- 短期目標 (Mission) <2020年>
 - 生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する
- 個別目標 (Target) = 愛知目標
 - 2020年又は2015年までをターゲットにした20の個別目標

開催国の市民も
声をあげたが...



COP10で決まった20の約束： 愛知ターゲット

ビジョン（中長期目標（2050年））

「自然と共生する（Living in harmony with nature）」世界

ミッション（短期目標（2020年））

2020年までに、回復力があり、また必要なサービスを引き続き提供できる生態系を確保するため、生物多様性の損失を止めるための効果的かつ緊急の行動を実施する。

20の個別目標

戦略目標A：生物多様性の損失の根本原因に対処する

- 目標1：人々が生物多様性の価値を認識する。
- 目標2：生物多様性の価値を政府の計画に組み込む。
- 目標3：生物多様性に有害な措置を廃止し、正の奨励措置が策定、適用される。
- 目標4：全ての関係者が計画を実施する。

戦略目標B：生物多様性への直接的な圧力を減少させる

- 目標5：森林を含む自然生息地の損失速度を減らす。
- 目標6：魚類などが持続可能に管理、漁獲される。
- 目標7：農業・林業が持続可能に管理される。
- 目標8：汚染が有害でない水準まで抑えられる。
- 目標9：外来種が制御され、根絶される。
- 目標10：気候変動その他の人為的な悪影響を最小化する。

戦略目標C：生物多様性の状況を改善する

- 目標11：少なくとも陸域の17%、海域の10%が保護地域などにより保全される。
- 目標12：絶滅危惧種の絶滅が防止される。
- 目標13：作物・家畜の遺伝子の多様性が維持される。

戦略目標D：生物多様性から得られる恩恵を強化する

- 目標14：生態系が保全され、自然の恵みが享受される。
- 目標15：生態系が気候変動の緩和と適応に貢献する。
- 目標16：ABSに関する名古屋議定書が施行・運用される。

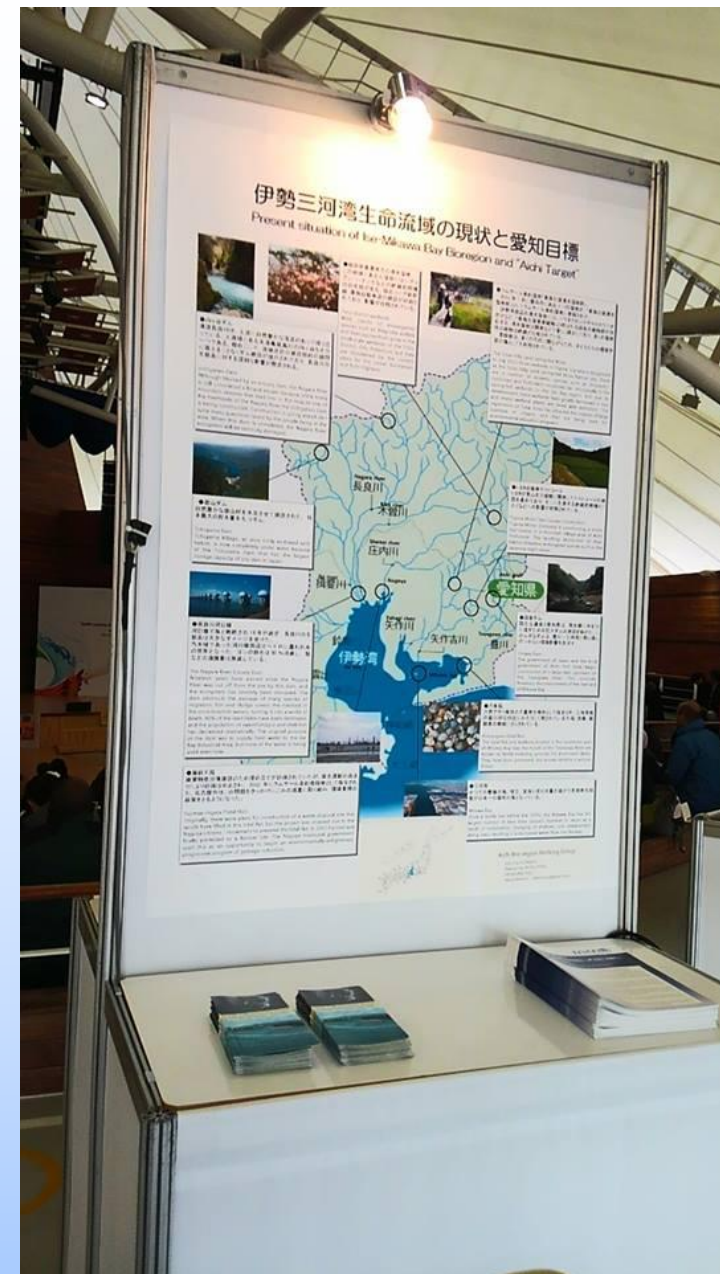
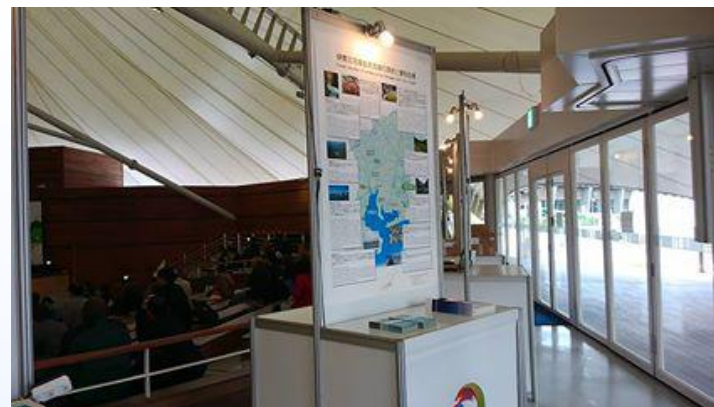
戦略目標E：能力開発などを通じて条約の実施を強化する

- 目標17：効果的で参加型の国家戦略を策定する。
- 目標18：伝統的知識が尊重される。
- 目標19：関連する知識・科学技術が改善される。
- 目標20：戦略計画の効果的実施のための全てのソースからの資金の動員が現在のレベルから大幅に増加する。

日本 中部地方の市民の取組

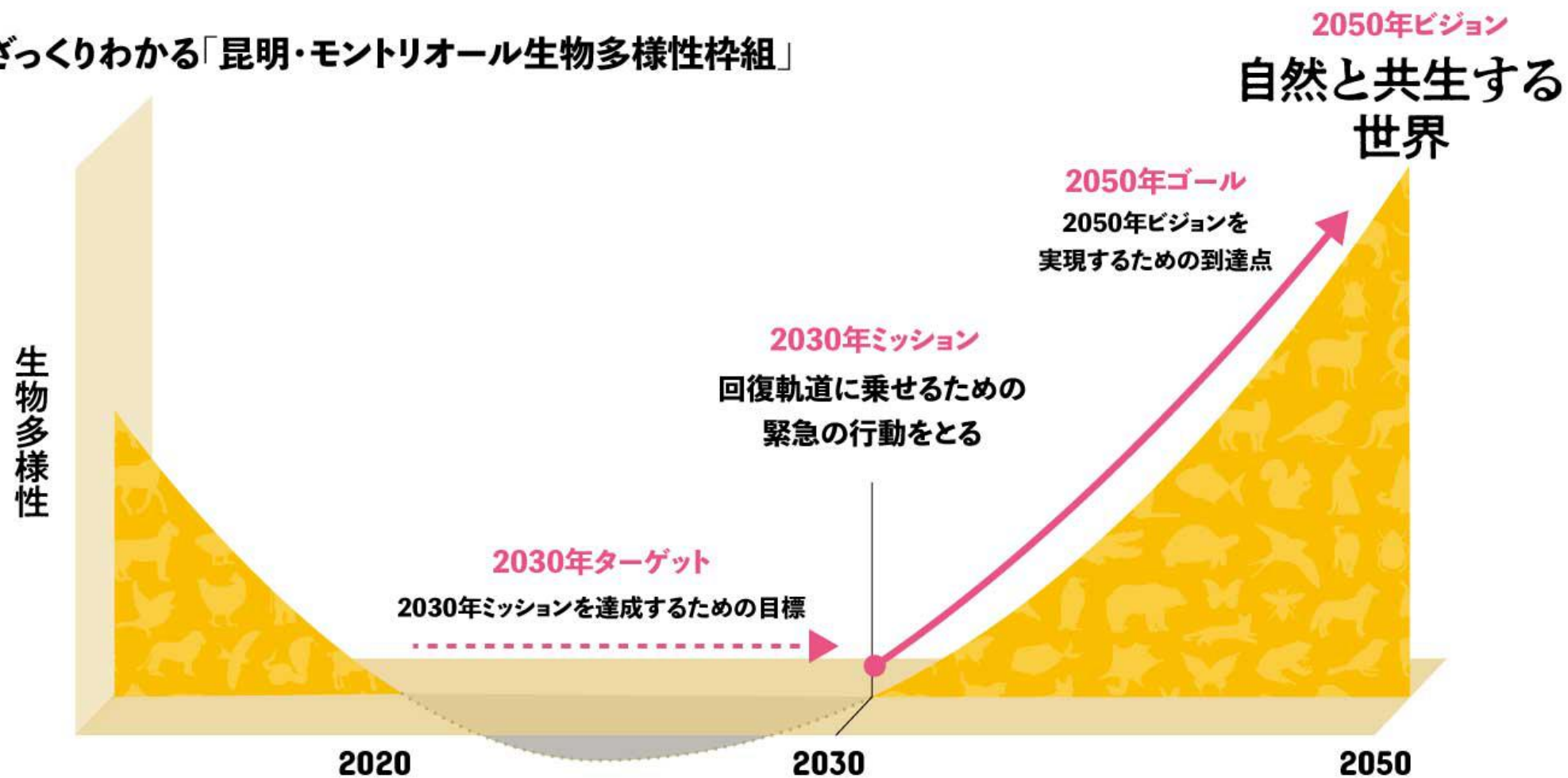
- COP10 生命流域圏 をアピール
- 2012年、2013年 韓国四大河川ツアー
- 愛知ターゲットを私たち市民が、武器として使うために何をすればいいか。
- 2014年9月 日韓交流企画
長良川～徳山ダムツアー
COP12 プレシンポ
COP12 会場内のCEPA Fairという枠組みでシンポ

愛知目標が誕生したその場所で、
愛知目標が実現されていない
状況を伝え、考えた



COP15：愛知目標は
「昆明・モントリオール生物多様性枠組み」へと生まれ変わった

ざっくりわかる「昆明・モントリオール生物多様性枠組」



2050年ビジョン
自然と共生する世界

2050年ゴール

ゴールA
保全

ゴールB
持続可能な利用

ゴールC
遺伝資源へのアクセスと利益配分
(ABS)

ゴールD
実施手段の確保

2030年ミッション
自然を回復軌道に乗せるために生物多様性の損失を止め反転させるための緊急の行動をとる

2030年ターゲット

(1) 生物多様性への脅威を減らす

- 1: 空間計画の設定
- 2: 自然再生
- 3: 30by30
- 4: 種・遺伝子の保全
- 5: 生物採取の適正化
- 6: 外来種対策
- 7: 汚染防止・削減
- 8: 気候変動対策

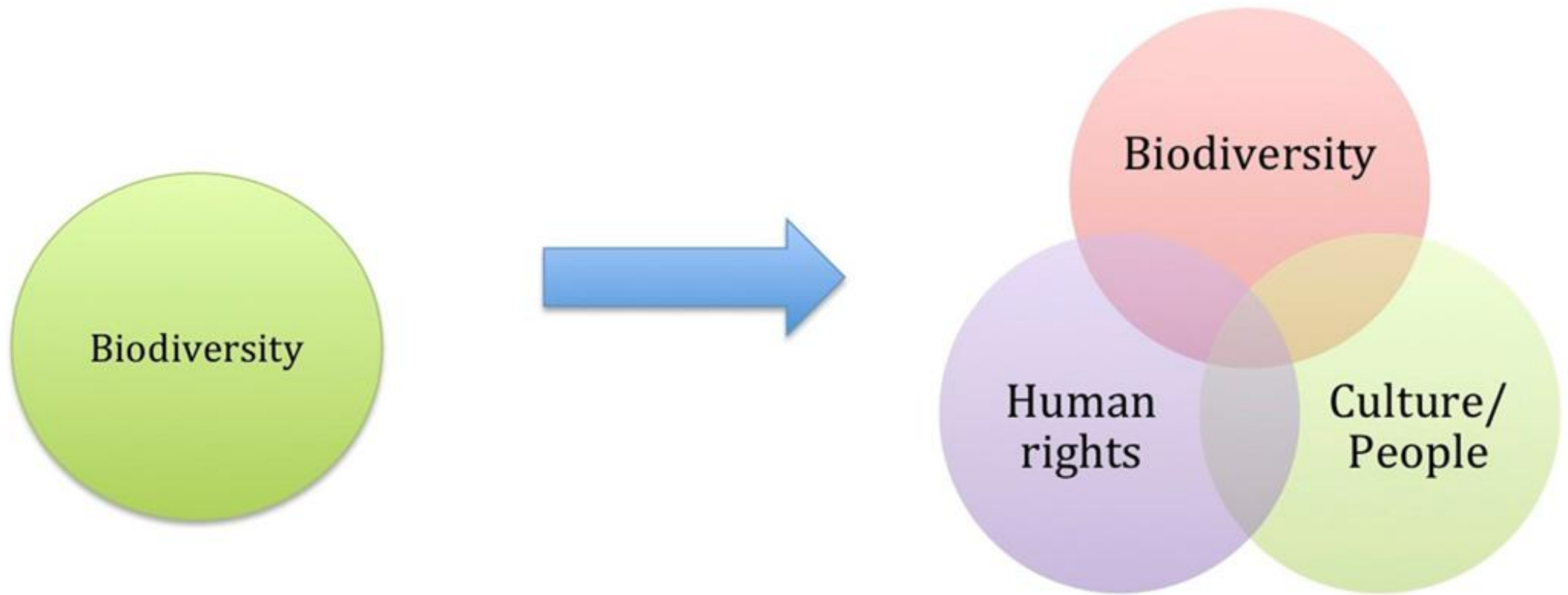
(2) 人々のニーズを満たす

- 9: 野生種の持続可能な利用
- 10: 農林漁業の持続的管理
- 11: 自然の調節機能の活用
- 12: 緑地親水空間の確保
- 13: 遺伝資源へのアクセスと利益配分(ABS)

(3) ツールと解決策

- 14: 生物多様性の主流化
- 15: ビジネスの影響評価・開示
- 16: 持続可能な消費
- 17: バイオセーフティー
- 18: 有害補助金の特定・見直し
- 19: 資金の動員
- 20: 能力構築、技術移転
- 21: 知識へのアクセス強化
- 22: 女性、若者及び先住民の参画確保
- 23: ジェンダー平等の確保

愛知目標よりは、生物多様性と、
文化・人々の生活・経済活動、人権 の関連が明記





Nature Positive Nature based Solution

- 産業界が、積極的に生物多様性保全・生物多様性の実現に取り組み始めている。
- 「自然に基づく解決策」という概念は、「自然」が人間のために何をすべきかという、危険で歪んだ「集合的想像力」を育んでいる可能性がある。
- 政治・経済・法律に焦点を当てたやり方は本質的に失敗する運命にある。なぜなら、それらは人間中心に構築されているからだ。...私たちは私たちの存在の土台を見落としてしまっている。（David.Suzuki）

A photograph of two men on a stage. The man on the left is older, with grey hair, wearing a light-colored button-down shirt and a lanyard. He is holding a microphone. The man on the right is younger, with dark hair, wearing a white t-shirt. He is gesturing with his hands as if speaking or performing. In front of them is a structure made of bamboo poles. In the background is a large screen displaying some text, which is out of focus. A dark green arrow-shaped overlay is positioned in the lower-left foreground, containing white Japanese text.

自然の声を聴き、
自然とともに生きる人の声を聴くことに
謙虚でありたい。



ご清聴、ありがとうございました！
akemi3214@gmail.com